

LIBRARY INFORMATION ライブラリー・インフォメーション

特別整理期間(蔵書点検)のお知らせ

10/13(土) 10/14(日) 10/15(月)

13日・14日は、2・3階の図書フロア部分を臨時休館します。

15日は文化財事務室を除き全館休館です。

蔵書点検とは...
書架に並んでいるすべての本のICタグやバーコードを読み取り、あるべき場所に本があるかどうか、行方不明になっている本はないかを確認する作業のことをいいます。

13日・14日の本の返却は、1階エントランスの返却ボックスおよび国会通り側ブックポストをご利用いただけますが、本の返却処理が遅くなることをあらかじめご了承ください。

期間中は、ご不便をおかけいたしますが、利用者の皆さまに、より迅速で快適なサービスを提供できるよう、今後とも資料の管理に努めてまいります。

Exhibit Information 9月の展示情報 ※展示情報は変更する場合がございます。

- 2F パープルゾーン** 「大正モダン」(~9/14)
短い時代区分ながらその中で様々な文化が開いた大正時代。当時の華やかな着物やポスター、広告などデザインについての本から、文学、社会情勢に関する本まで集めました。
- 2F ホール** 「千代田区生きものさがし2018」(~11/15)
千代田区内に生息する生きものの現状を確認し、生物多様性に対する意識を広げるため、毎年実施している区民参加型モニタリング調査「千代田区生きものさがし」。今年もより多くの方に参加していただけるよう様々な植物や昆虫に関する本を展示しています。
- 3F グリーンゾーン** 「ポスト・トゥルースの時代」(~10/12)
誰もが情報を発信できるようになった時代、情報源(ソース)の信頼性や発信する側の責任・モラルが問われる中、世の中に溢れる「情報」との向き合い方を展示を通して考えていきます。

展示 PICK UP

- 3F ブルーゾーン** 【アート・言語・文学】の本を集めたゾーン
- 「夜」お薦めの本5選**
9/14まで開催中の展示「夜」の中から、夜の過ごし方のヒントになる本5冊をご紹介します。
- 『東京の夜のよりみち案内』
●著者：福井麻衣子 ●出版社：G.B. ●出版年：2017年
 - 『夢の日本史』
●著者：酒井紀美 ●出版社：勉誠出版 ●出版年：2017年
 - 『闇の夜に』
●著者：ブルーノ・ムナーリ ●出版社：河出書房新社 ●出版年：2017年
 - 『月物語』
●写真：星河光佑 文：杉山久仁彦 ●出版社：青菁社 ●出版年：2010年
 - 『100冊の徹夜本』
●著者：佐藤圭 ●出版社：カタログハウス ●出版年：1992年

2F パープルゾーン【三角台】

日比谷カレッジ「アジアの人々と図書館」関連展示 「本の力を、生きる力に。」 ~9/29(土)

9月29日に開催する日比谷カレッジにちなみ、東南アジアを中心に、長年に渡り読書推進事業を続けている国際協力団体「シャンティ国際ボランティア会」の活動紹介パネルを展示しています。関連書籍やパンフレットもあわせてご覧ください。





東南アジアの国々、そして国際協力やボランティアについて知るための本を集めました。

シャンティ国際ボランティア会活動地の様子 ©Yoshifumi Kawabata

From Chiyoda Public Library 【千代田区立図書館からのお知らせ】

天気をはかる
~気象庁143年をものがたると技術~

天気予報するためには、気温や雨、風の向きなどの現象をはかる「気象観測」が必要です。気象庁では、天気予報の他に、台風や落雷などの気象の変化を観測して、防災情報を提供しています。本展では、地上、衛星、南極といった観測の現場を紹介すると共に、関連本を展示しています。



気象庁マスコット「はれるん」(気象庁提供)

▶開催中~10月27日(土)まで▶千代田図書館9階展示ウォール

9月・10月 休館日のお知らせ

定期休館日のほかに、蔵書点検のための臨時休館日がございます。

千代田図書館	9月23日(日・祝)~26日(水)、10月28日(日)
四番町図書館	9月2日(日)、10月5日(金)~7日(日)
昌平まちかど図書館	9月9日(日)~10日(月)、10月14日(日)
神田まちかど図書館	9月16日(日)~17日(月・祝)、10月21日(日)




Modern Architecture 1908 1908(明治41年)「東京市立日比谷図書館」として開館

1945 1945(昭和20年)空襲により建物および蔵書を焼失

1957 1957(昭和32年)都立日比谷図書館 落成

1961 1961(昭和36年)4階部分を増築

2011 2011(平成23年)千代田区立日比谷図書文化館 開館

4階 スタジオプラス(小ホール)天窓
外からの光が注ぐ、三角形の格子で構成された天窓に、当時の意匠が残されています。

障子窓
昭和32年当時の面影が残る、日差しを和らげる障子窓。1階から4階まで、階段周りの窓などに設置されています。

フレスコ画
1階壁面に描かれたフレスコ画は、昭和32年の建設時に制作され、現在も当館のシンボルになっています。

日比谷公園の豊かな緑の中に、三角形のユニークな佇まい。百余年の歴史を誇る都立日比谷図書館が、楽しく学び、かつ創造する複合文化施設として、2011年11月に千代田区立日比谷図書文化館へと新しく生まれかわりました。しかし、建物の要所、要所には昭和32年当時の面影が残されており、日差しを和らげる目的で設けられた障子窓や、1階のフレスコ壁画など、特徴的な意匠を残す努力がなされています。当館の蔵書だけでなく、建物にも注目し、細部に目を留めていただくと、新たな発見があり、当時の雰囲気を知ることができます。時代が残したモダンな文化を伝える、歴史ある建物の良さをぜひ感じてください。

calendar 開館時間：平日10時~22時 ■土曜10時~19時 ■日祝10時~17時 ■休館日

2018年9月							2018年10月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
						1	1	2	3	4	5	6	
2	3	4	5	6	7	8	7	8	9	10	11	12	13
9	10	11	12	13	14	15	14	15	16	17	18	19	20
16	17	18	19	20	21	22	21	22	23	24	25	26	27
23/30	24	25	26	27	28	29	28	29	30	31			

■部分(図書フロア)休館日

■部分(図書フロア)休館のお知らせ
2018年10月13日(土)、14日(日)
図書の特別整理を実施するため、2・3階の図書フロア部分を臨時休館します。そのため、図書の貸出・閲覧席の利用などができなくなります。本の返却は1階エントランスおよび国会通り側ブックポストをご利用ください。(一部資料を除く)図書フロア以外の施設は通常どおりご利用いただけます。
※10月15日(月)は全館、休館日です。(文化財施設事務室は除く)

access
〔都営地下鉄〕●三田線「内幸町駅」A7出口 徒歩3分
〔東京メトロ〕●丸ノ内線●日比谷線「霞ヶ関駅」B2出口 徒歩3分
●千代田線「霞ヶ関駅」C4出口 徒歩3分 ●JR「新橋駅」徒歩10分
※当施設に駐車場・駐輪場はございません。公共交通機関をご利用下さい。

お問合せ先：千代田区立日比谷図書文化館 〒100-0012 千代田区日比谷公園1-4
TEL：施設代表 03-3502-3340 図書総合カウンター 03-3502-3343
URL：https://www.library.chiyoda.tokyo.jp/hibiya/

9・10月の講座

▶「日比谷カレッジ」とは、日比谷図書文化館が主催・共催で行うセミナーやイベントです。「江戸・東京」「本」「スキルアップ」「芸術」「センスアップ」の5つのカテゴリーに基づき、さまざまな「学び」と「交流」の場を提供します。

9/13 (木) 近代日本のポピュリズム —日比谷焼き打ち事件から日米戦争へ—

講師：筒井 清忠(東京大学文学部長)

ポピュリズムは現代の政治状況を表現するのによく使われる用語だが実は日本にはすでに戦前に存在していた。それは日露戦争後の日比谷焼き打ち事件に始まる。以後、普通選挙から満洲事変、五・一五事件、近衛文磨ブーム、日米開戦へと戦争に至る道を追ひ、歴史の教訓を学ぶ。

- 日時:9月13日(木) 19:00～20:30(18:30開場)
- 会場:地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)
- 定員:200名 ■ 参加費:1000円



9/15 (土) バレエ史っておもしろい!—2 藤田嗣治の手掛けたバレエ ～バレエ・スエドワの世界—

講師：芳賀 直子(舞踊史研究家)

没後50周年を迎えた画家・藤田嗣治が舞台美術・衣裳を手掛けたバレエ団“バレエ・スエドワ”は“1920年代パリを体現するバレエ団”と言われていいます。ルネ・クレールによる映像やレジェによる舞台は今見ても斬新そのもの。その魅力をお伝えできればと思います。

- 日時:9月15日(土) 14:00～15:30(13:30開場)
- 会場:地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)
- 定員:200名 ■ 参加費:1000円



バレエ・スエドワ主宰者 スウェーデン貴族 ロルフ・ド・マレ(画像提供:Naoko Haga Collection)

9/24 (月・祝) 上機嫌で生きる技術 —吉田尚記アナウンサーが語る「没頭力」—

講師：吉田 尚記(ニッポン放送アナウンサー)

“コミュ障”だった吉田氏がいかにして人気アナウンサーになったのか。千代田区有楽町のラジオ局から様々なカルチャー情報を発信し続けている吉田アナウンサーを迎え、秋葉原のこと、有楽町のこと、そしてご自身の経験から生まれた「上機嫌で生きるための技術」についてお話しいたします。

- 日時:9月24日(月・祝) 14:00～15:30(13:30開場)
- 会場:地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール) ■ 定員:200名 ■ 参加費:1000円(千代田区民・学生500円)
- ※学生の方は、当日、受付で学生証をご提示ください。

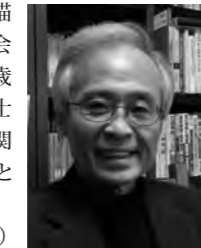


9/28 (金) 千代田区民講座 脳と心—驚異のパワーを発揮せよ!—

講師：林 勝彦(元NHKプロデューサー、科学ジャーナリスト)

脳に障害があっても前向きに生きる姿を感動的に描いたNHKスペシャル「脳と心」は、放送直後にNHK会長賞を受賞し、海外からも高い評価を得ました。1歳3ヶ月の時に重篤な病気を発症した画家の岩下哲士氏。右脳の大半が欠落し視野も狭窄していたにも関わらず、感動的な絵を描きます。明るく生きる姿とともに、脳の驚異の世界を紹介します。(主催:NPO法人 神田雑学大学、共催:日比谷図書文化館)

- 日時:9月28日(金) 19:00～20:30(18:30開場)
- 会場:4階 スタジオプラス(小ホール) ■ 定員:60名 ■ 参加費:無料



〈参加申込〉電話(03-3502-3340)またはホームページにて、講座名、お名前(よみがな)、お電話番号をご連絡ください。当館1階の受付でもご予約を承ります。各講座ともに定員になり次第、締め切らせて頂きます。キャンセルの場合はご連絡ください。参加費は当日支払いです。千代田区民料金のある講座は、当日、図書貸出券や健康保険証など住所が確認できるものをお持ちください。

9/29 (土) アジアの人々と図書館 ～翻訳絵本作りワークショップ～

講師：鈴木 晶子(公益社団法人シャンティ国際ボランティア会 広報課 課長)

アジア諸国では、今もなお学校に通えず、文字の読み書きができない人々が大勢います。貧困、教育などの課題を解決するために、国連を中心に世界の国々が持続可能な開発目標(SDGs)の達成に向けた取り組みを開始していますが、私たちに



©Yoshifumi Kawabata

は何ができるのでしょうか。今回は、現地の状況や図書館を通して人生を切り拓いた人々のお話を聞いた後、シールを貼って翻訳絵本作るワークショップを開催します。

- 日時:9月29日(土) 14:00～16:30(13:30開場)
- 会場:4階 スタジオプラス(小ホール)
- 定員:40名
- 参加費:1500円(材料費込。完成した絵本はアジアの人々に贈るため、持ち帰りできません)

10/2 (火) 江戸歴史講座 第54回 / EDO ART EXPO関連講座 江戸の美と化粧紅

講師：立川 亜理沙(伊勢半本店 紅ミュージアム 学芸員)

江戸時代の女性は、白粉の「白」、眉墨やお歯黒の「黒」、そして頬紅・口紅の「赤」、わずか三色で美を粧いました。本講座では、江戸の美を赤化粧に軸を置き、当時の女訓物や化粧書の記述、浮世絵などを参考にしながらその実相を探ります。あわせて「笹色紅」とも称された江戸の化粧紅について、その製法をご紹介します。

- 日時:10月2日(火) 19:00～20:30(18:30開場)
- 会場:4階 スタジオプラス(小ホール)
- 定員:60名
- 参加費:1000円(千代田区民500円)



「今様美人拾二景でござろう」 浜斎英泉 伊勢半本店 紅ミュージアム蔵

10/5 (金) 粋と額縁からみる絵画 ～源氏物語絵巻から北斎、国芳まで～

講師：小笠原 尚司(額装家)

絵画を粋や額縁と一体となった美術品、かつ装飾品としてみると、絵画鑑賞の奥行きは宗教的な目的や美的な楽しみ、建築や装飾との関係にまで広がります。今回は日本の絵を中心に、奈良時代の扁額から源氏物語絵巻、絵馬や浮世絵まで、日本と西洋の関係も含めて代表的な名画を新たな視点から考えてみます。

- 日時:10月5日(金) 19:00～20:45(18:30開場)
- 会場:地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)
- 定員:200名
- 参加費:1000円



10/10 (水) シェイクスピアの倫理学 ～ハル王子とフォルスタッフを中心に—

講師：河合 祥一郎(東京大学大学院総合文化研究科教授)

「善」を目指して行動しても、批判を受けることもある。「正しさ」のために頑張っても認められないこともある。一所懸命やっているのに、なぜうまくいかないのか。どうしたらよいのか、シェイクスピアに答えを求めよう。

- 日時:10月10日(水) 19:00～20:30(18:30開場)
- 会場:地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)
- 定員:200名 ■ 参加費:1000円



10/11 (木)他 HIBIYAイノベーション・キャンパス2018

講師：鳥谷 真佐子(慶應義塾大学大学院SDM研究科 特任講師)

広瀬 毅(慶應義塾大学大学院SDM研究科 特任助教)

物事や世界をシステムとして捉えて問題解決やアイデア創出をするプロセスを学ぶ講座です。「ワークショップ」の【初級編】では、システム思考の基礎的な知識と、物事をシステムとして捉え、新たな価値を生む糸口を見つけるための基礎的なワークの流れを学びます。【実践編】では、初級編と同様の知識・方法を学ぶと共に、システム思考を通じて既存のやり方に囚われないアイデアおよび実現方法を考えるまでの流れを体験します。(協力:慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科附属SDM研究所イノベティブデザインセンター)

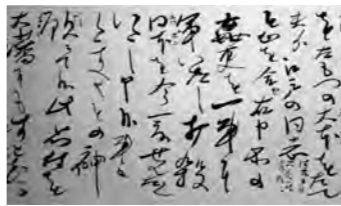


- 日時:10月11日(木) 19:00～21:00(18:30開場)
- 第3弾 ワークショップ【初級編】 『システム思考で新たな価値を生む糸口を見つける』
- 11月24日(土) 13:00～17:00(12:30開場)
- 第4弾 ワークショップ【実践編】 『システム思考で既存に囚われないアイデアおよび実現方法を考える』
- 会場:4階 スタジオプラス(小ホール) ■ 定員:各回40名
- 参加費:第3弾 ワークショップ【初級編】2000円
- 第4弾 ワークショップ【実践編】3000円

10/18 (木) 千代田区内ミュージアム連携) 江戸歴史講座 第55回 幕末明治からのメッセージ—激動の時代を彩った人々—

講師：岩間 一樹(衆議院憲政記念館「特別企画展示」企画担当)

幕末から明治にかけて活躍した人たちの思いは、どういうものだったのでしょうか。書として何かを残す—憲政記念館は、これを「メッセージ」としてとらえ、シリーズ展で紹介してきました。今回は皆様方にダイジェストをご紹介します。



「坂本龍馬書状 乙女宛」(複製) 橋本秀孝氏所蔵

- 日時:10月18日(木) 19:00～20:30(18:30開場)
- 会場:4階 スタジオプラス(小ホール)
- 定員:60名 ■ 参加費:500円

10/19 (金)他 アメリカ政治を読み解く(全2回)

講師：西山 隆行(成蹊大学法学部教授)

トランプ政権成立後、アメリカ政治への関心が高まっています。11月に行われる中間選挙を前に、時事問題の論評も交えながら、アメリカの政治制度と選挙の仕組み、人種・エスニシティ・宗教・社会福祉・銃規制などの社会経済的争点について解説して、今後のアメリカ政治のゆくえについて考えます。

- 日時:10月19日(金) 19:00～20:30(18:30開場)
- 第1回「制度と選挙」
- 10月26日(金) 19:00～20:30(18:30開場)
- 第2回「社会と争点」
- 会場:地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)
- 定員:各回200名 ■ 参加費:各回1000円



◆古文書塾てらこや体験講座◆ 各回1000円

古文書専門塾として、初心者から経験者まで楽しみながら学習を進めています。10月期の開講に合わせ、古文書の世界に無理なく入っていける「体験講座」をご用意いたしました。まずはお試しください。

	講座名	曜日・時間	初回日
入門コース 120分	古文書のいろは 筆字のくずし字	(月) 10:30～	9/10
		(月) 13:30～	9/24
		(火) 10:30～	9/18
		(火) 13:30～	9/18
		(木) 13:30～	9/20
	いろはの次 一 大江戸大変	(金) 13:30～	9/28
		(金) 18:30～	9/21
		(月) 18:30～	9/10
		(金) 10:30～	9/21
		本科コース 120分	文人画と碑文 一掛軸を読む
(水) 13:30～	9/19		
(土) 14:30～	10/6		
特別講座 90分	自分の花押(かおう)を持ってみませんか	(火) 13:30～	9/25
		(火) 19:00～	9/25
		(水) 10:30～	9/26
		(水) 13:30～	9/26
		(水) 19:00～	9/26
		(木) 13:30～	9/27
		(木) 18:30～	9/27
		(土) 10:30～	10/6
			武家文書を読む 一幕府崩壊事情
(火) 19:00～	9/25		
(水) 10:30～	9/26		
(水) 13:30～	9/26		
(水) 19:00～	9/26		
(木) 13:30～	9/27		
(木) 18:30～	9/27		
(土) 10:30～	10/6		
	翻字育成講座 国文学研究資料館蔵「源氏物語 若菜」を読む		
		(火) 19:00～	9/25
		(水) 10:30～	9/26
		(水) 13:30～	9/26
		(水) 19:00～	9/26
		(木) 13:30～	9/27
		(木) 18:30～	9/27
		(土) 10:30～	10/6

- 会場:4階 セミナールーム(会議室) ■ 資料請求・体験講座のお問合せ: 電話(03-3502-3340 日比谷図書文化館代表) 古文書塾てらこや担当迄

《予告》日比谷図書文化館 特別展

江戸から東京へ

明治維新以降、わが国は近代化への取組を行い、現代社会の基本的な形を築き上げていきました。とりわけ千代田区は、幕末から明治維新にかけての歴史の舞台が数多くあります。今回の展示では、黒船来航、幕末動乱から江戸城無血開城、鹿鳴館時代といわれた明治10年代までの江戸から東京へと移りかわる社会や街並みなどの変化を紹介します。

◆ 会場:1階 特別展示室

◆ 期間:2018年10月5日(金)～12月2日(日)

※詳しくは次号で紹介いたします。

●特別研究室企画展示●

100年後も手に取れる本に 2018

～内田嘉吉文庫修復報告～

2017年度に行った内田嘉吉文庫蔵書の修復記録と修復を終えた本を展示しています。製本家が長く使い続けるための工夫を凝らした修復本と付属品のほか、修復作業に必要な道具類も写真パネルで紹介しています。

- 【展示構成】 『The Queen's Empire』(1897年) 『通信事業図解1・2』(1910/1915年) 『台湾拓殖画帖』(1918年) など



THE HOUSES OF PARLIAMENT, WESTMINSTER 『The Queen's Empire』(1897年)より

ポモータ広報室より

9月1日は「防災の日」です。学校や職場などで避難訓練など行うところも多いのではないのでしょうか。日比谷図書文化館では休館日などを利用して、全スタッフによる地震・火災などを想定した訓練を定期的に行っています。もし、突然災害が起こったら?館内ではスタッフによる館内放送や誘導を行いますので、落ち着いて指示に従ってください。また、皆さん自身でも、もしもの時の避難経路や身の安全につながる方法など改めて考える機会にしてみてください。